



古石

後援会だより

URL: http://古石.com/

JR本年度減収400億円に

JR、5特急減便 来春普通列車も全域で

JR北海道の島田修社長は14日の記者会見で、来春のダイヤ改正に合わせ、札幌・函館間の「北斗」など5つの特急列車で減便し、一部を臨時列車化する方針を明らかにした。

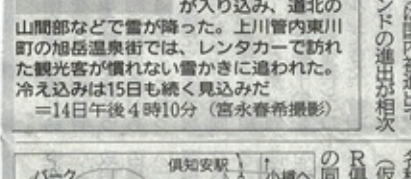
本年度減収400億円

Table with 2 columns: 特急列車の減便・臨時列車化, 臨時列車の減便・臨時列車化. Lists various train lines and their scheduled changes.

対象となる特急は「北斗」のほか札幌・旭川間の「カムイライラック」、旭川・稚内間の「サロベツ」、旭川・網走間の「大雪山」。

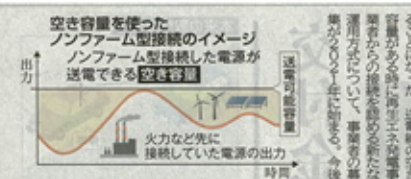


もう雪かき 道内は14日、上空に11月中旬並みの寒気が入り込み、道北の山間部などで雪が降った。上川管内東川町の旭岳温泉街では、レンタカーで訪れた観光客が慣れない雪かきに追われた。



建設費700億円 42軒に500室 倶知安に高級リゾート「カハラ」 24年一部開業

倶知安に国際リゾートとして開発が進む後志管内倶知安町の世界的な高級リゾート「カハラ」の宿泊施設が進出する。



再生エネ普及へ 送電線の運用変更 電力会社は再生エネルギーの普及を促進するために送電線の運用を変更する。

空き容量活用 23年度に新方式

電力会社は再生エネルギーの普及を促進するために送電線の運用を変更する。

地方路線維持より厳しく JR社長 減便札幌圏にも波及

JR北海道がコロナ禍による需要減を受け、来春のダイヤ改正で札幌・函館間の「北斗」の減便や旭川・網走間の「カムイライラック」の臨時列車化の方針を打ち出した。

減効果は約5億5千万円 現状に厳しい見込みだが、現状に厳しい見込みがある。JR北海道は、減便による減収を約5億5千万円と見込んでいる。

道内の流行「拡大傾向」 専門家組織 実効再生産数1.27

厚労省が新型コロナウイルス対策を助言する専門家組織「アドバイザリーボード」は13日、厚労省で会合を開き、全国の感染拡大が止まらないと警告した。

感染しやすさに年齢差なし

北大の感染学教授が、新型コロナウイルスの感染しやすさは年齢による差はないと発表した。